

令和7年度 第3回狭山市文化財保護審議会 会議録

開催日時 令和8年3月24日(火)
午後3時00分から午後4時10分まで

開催場所 教育委員会室

出席者 高橋(光)委員長、岩本副委員長、高橋(恵)委員、中平委員、名雲委員、宮瀧委員、山田委員、吉田委員

欠席者 横山委員

事務局 滝嶋教育長、五十嵐生涯学習部長、石井社会教育課長、三ツ木主査、中津主事

傍聴者数 0名

議 題

1 令和8年度予算について

会議資料に基づき、令和8年度予算について事務局より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

副委員長 廣瀬神社の大ケヤキについて、1号木に関しては枝を伐採した後、復活する可能性はどの程度と考えているのか。また、現在栄養を吸い上げている状態ではないのか。

事務局 県の担当者との共通認識として、復活の可能性は10%未満と考えております。3年ほど前に実施した内部調査の時点でも80%が空洞となっており、栄養を吸い上げている状態ではありません。

副委員長 博物館の刀剣の修復について、単年度で終わるのか。

事務局 継続事業として考えております。

委員 刀剣は定期的な手入れが必要なため、今後の対応として視野に入れていただきたい。

委員 博物館の消火栓・防火戸の改修工事に伴い、休館期間は設けるのか。

事務局 現段階では、特別に休館期間を設ける予定はありません。

2 その他

会議資料に基づき、市内文化財に関する助言および報告事項について事務局より説明し、意見交換の後、承認された。

質疑・意見等

委員 廣瀬神社で発見された木製プロペラの調査方法について、まずは市から正式に所沢航空発祥記念館に問い合わせ、調査を依頼してはいかがか。

事務局 承知いたしました。

委員 指定文化財を検討する前段階として、「認定文化財」といった準文化財制度を作成し、一般から募集する件については、名称から補助金が出る等の誤解を生んでしまう可能性が高いため、再考したほうがよい。初期段階においては、まずは審議会委員等で候補台帳を作り、調査を実施すべきである。

委員 調査を実施するにあたり、代替わりによる古文書等の貴重な資料の紛失を防ぐため、所有者とは定期的に連絡を取るべきである。

事務局 懸念点を踏まえ、まずは審議会委員の知見を活用し、既存の資料や所有者の状況確認などを進めてまいります。

※その他、事務連絡を行った。